

# 令和2年度 第4回花き技術向上研修を開催しました

「アルストロメリアの有望品種と新たな花き有望品目について」

## 1 開催日時

令和2年11月25日（水曜日）11時00分～15時30分

## 2 内容

出席者数：花き生産者など13名、種苗会社3社4名

### (1) 実証展示品種の生育開花状態の展示

栽培圃場の概要（農大職員）

場所：アルストロメリア実証展示温室

新型コロナウイルス感染症対策として、栽培実証圃場の見学は時間予約制とし、1組当たり10（個人）～15分（団体）の見学時間として実施しました。

栽培温室での展示栽培品種の見学では、各見学者が供試品種について種苗会社からの説明を受けました。花きセンターでは、施肥量、定植時期、地中冷却の実施状況等の肥培管理について説明しました。生産者は、品種名のラベルを確認しながら開花状況を観察しました。

アルストロメリアの開花状況は、例年よりも少なく、展示品種の半数程度となりました。種苗会社の担当者からは、全国的に夏場の不順天候の影響で、9月の採花盛期後、採花数が減っているとの補足説明がありました。

### (2) 研修会「新たな花き有望品目」

新たな花き有望品目及び栽培品種の特徴説明（種苗会社2社）

場所：フラワーレススルーム

研修会では、新井清太郎商店の担当者より、球根のフリージアの新品種「ブルーセンセイション」について紹介がありました。白や黄のイメージ強いフリージアで紫の品種として人気があるとのことでした。

併せて、アルストロメリアの情報も提供され、主な有望品種の説明のほか、横浜植木(株)の担当者からは、近年、従来の大輪系から、小輪のタイプの人気が出ているとのこと、花きセンターの試作品種にも黄緑色の小輪品種が入っていること、福花園種苗(株)の担当者からは、アルストロメリアの需要動向について、生産量は増えているが、6～9月が減っており、また北海道でやめた産地があるほか、東北でも減少傾向であると説明がありました。



実証圃場温室での参観者見学状況



研修会での種苗会社説明